

新年のごあいさつ

代表取締役社長
長瀧 好教



お客さまとともに進みます。そして 新たな挑戦を！

明けましておめでとうございます。

昨年、北九州市民の一人としましては、旧官営八幡製鐵所が世界文化遺産に登録され、記憶に残る嬉しい一年となりました。

弊社の2015年を振り返りますと、

- 複数の大型案件の同時サービスイン
- 北九州地域エネルギー新会社「(株)北九州パワー」への資本参加
- 国際車椅子バスケットボール大会 100人超チームでの応援参加
- I o T を駆使した現場の安全・安心や社員の健康を守るソリューション創出
- 新ソリューション創出の全社横断プロジェクト“EARTH”の立ち上げ
- 営業・SEの一体化した組織体制のスタート



など、お客さま・パートナーさま、或いは地域の方々とともに、多くの“新しいこと”に着手・実現することができました。これもひとえに皆さまのご厚情の賜物と、深く感謝し、これら新しいサービスや取組みが、お客さまに真に役立ち、浸透していきますよう、今後も活動を高めて参ります。引き続き、皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本年はさる年、丙申（ひのえさる）ということで、文献によれば、「これまで日の目を見なかったものが形になる成長ステップの年」だそうです。改めて、これまでのお客さま、パートナーさまとの成功や失敗の体験、地域の方々との活動を棚卸し、2017年の創業50周年に向かって、ソルネットらしさである「明るく元気に気持ちのよい会社」さらに、「皆さまのパートナー ソルネット」をしっかりと磨き上げる一年にしたいと思っております。

私たちは、以下の3つを、創業50周年に向けてお約束いたしました。

- お客さまとの率直なコミュニケーション活動を愚直に行って参ります。
- より深い、広い、新しいお客さまビジネスへの貢献を目指して参ります。
- いつも明るく元気に挨拶する、気持ちの良いパートナーであり続けます。

全員が気持ちよく挨拶をすることが、どれだけ素晴らしいか そして難しいことか 勇気がいることか お客さまにお話しを頂く機会が増えました。3つの約束を実行しながら、皆さまと共に進んで参りますので、今後ともご愛顧とご指導賜りますようお願い申し上げます。



品質にこだわって

取締役常務執行役員
松岡 信行 (営業統括担当)



旧年中は格別のご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

来年、弊社が創業50周年という節目の年を迎えるにあたり、これまでの様々な経験を踏まえた上で、原点に立ち戻り、今年、特に『品質』にこだわります。

個々のスキルの幅を広げ、深めていく取組みや、チームとしてモラルを高める仕組みづくりなどを工夫することにより、提案、企画・設計・開発、プロジェクト推進、保守・運用、コミュニケーションなど、営業・SEの活動品質を更に高めて参ります。こうしたことを地道に積み重ね、安定的に高いレベルで弊社が提供するサービス・商品の品質を維持していくことが、お客さまの期待に応え続ける為のベースとなると考えます。加えて、競争力を更に高めるためにも、ノウハウの蓄積・活用やツールの活用による生産性の向上にも積極的に取組み、『ソルネットはいいね』とお客さまから言っていただけることを目指します。

今後とも変わらぬご愛顧とご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。



更なる飛躍を目指して！

執行役員
野田 清文 (SI&S担当)



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

弊社では創業50周年に向け、これからも発展を続ける企業を目指して、活動品質・スキル向上の取組みを進めています。

特に、昨年は新商品・新サービスの開発・提供や、新分野への進出をメインテーマとし、新ビジネスの進展、サービス志向などの多様化するニーズに対して、スピード感があり付加価値の高い提案と対応を行うことを目標に活動を進めて参りました。

また、世の中の技術動向や弊社の技術力に対する取組みを“てくにかるCafé”として、この紙面でもご紹介させていただいていますが、多くの技術者に最新技術を広め定着していくことを目指した社内普及活動も技術支援グループリードで展開中です。

本年は、これらの取組みに磨きをかけて、新しいことを取入れていく「風土」を確固たるものとしつつ、いつまでも変化しない“ソルネットらしさ”という我々の「本質」を忘れずに、誇りある創業50周年に向けて更なる飛躍を目指したいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



IoTで地方創生に積極参画

理事 部長
大岡 肇子 (ビジネス推進部、
環境SOL推進室(兼))

あけましておめでとうございます。昨年は、Initiative7の「環境未来」の中から2つの新規ソリューションを創出しました。

「健康」 **HealthPartner2015**
健康経営を目指す企業の社員健康管理SOL

「安全安心」 **設備点検システム**
工場の労働災害を予防する点検SOL



どちらもウェアラブルデバイスや音声認識等を活用したソリューションです。弊社の光りものである“Initiative7”の「医療」や「製造」のチームと共同で製品化を進めて参りました。

今年、これらソリューションをお客さまの個々の課題解決のお役に立てるべく、総力でお届けして参ります。また新たに視点を広げて、スマートグラスとAR技術を活用した観光&視察3Dツアー等の「おもてなし」サービス分野での取組みもスタートしています。

昨年10月、「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されました。私たちは「製造」「環境」は元より、「健康長寿」「安全安心」「おもてなし・にぎわい」等の分野でIoTを活用した様々なご提案をお届けいたします。本年もよろしくお願ひ申し上げます。



お客さまの成功をITでご支援

理事 事業部長
近藤 俊次 (産業SOL事業部)

旧年中は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、システム運用に加え、大型システムのサービスインや事業再編、システム刷新計画など、さまざまなお客さまビジネスにおける重要な局面をご支援させていただきました。今後、さらにサービス品質向上に向けて真摯に取り組む、お客さまの満足度向上に努めて参ります。



また、弊社の創業以来48年間の経験にITの新たな可能性を取入れて、価値あるサービスを創造し、プラントエンジニアリング・製造・金融・保険・再生可能エネルギーなど、さまざまな業種のお客さまにも多角的かつ柔軟なご支援を進めて参ります。

今年の干支は、丙申（ひのえさる）で「形が明らかになってくる頃」とのこと、皆さまにとって、“成功の年”・“気づきの年”となりますよう、ITの側面から積極的にご支援させていただきます。

本年も変わらぬご厚誼のほどよろしくお願ひいたします。



サーバーの状況確認は行っていますか？

今までに、サーバー障害により業務が停止して、お困りになったことはございませんか？

サーバー障害が発生する前には、システムログやハードウェア管理機能に障害予兆が記録されていることが多く、日頃から状況確認を行うことで障害を防げる場合があります。

サーバートラブルを未然に防ぎ、システム障害が発生した際のダウンタイム短縮を実現するため、サーバーが正常に動作している今こそ「**サーバー保守サービス**」をお勧めします。

■ 3つのポイント

▶ ポイント1 : 定期点検

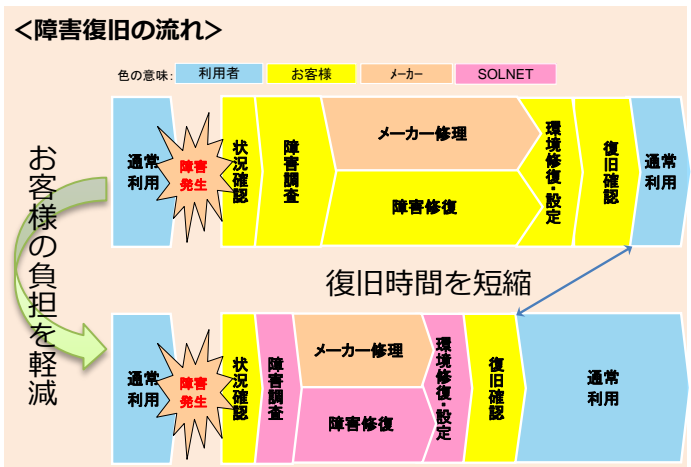
サーバーの利用状況確認、障害・ウイルス感染イベントログなどを確認し、レポートを作成します。定期的なサーバーの状況分析という予防保守を行うことで、**突如のシステムダウンを抑制できます。**

サーバ 定期点検報告

サーバ名称	x x xシステムDBサーバ										ホスト名	xxx_Server01			
ハードウェアの状態	アテンションランプ点灯 : HDD 1 で障害														
ディスク使用状況	C:	全容量(GB)	100	使用率(%)	30	D:	全容量(GB)	100	使用率(%)	94					
		空容量(GB)	70	空き率(%)	70		空容量(GB)	6	空き率(%)	6	備考				
ディスク使用量推移	ドライブ	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	Cドライブ	27	28	29	30										Dドライブの空きが少なくなっています
	Dドライブ	88	90	92	94										
イベントログ	システム	デバイス「YDevice\Harddisk0\FC」上で“エラー検出”のメッセージ													
	アプリケーション	MegaRAID Manager のイベントで「HDD Removed」のメッセージ													
ウイルスチェック	不正プログラム「ランサムウェア」が検出														
バックアップ状況	前回実施日時	2015/05/28 08:00										実施結果	正常終了		
	特記事項	結果は正常終了でしたが、時間がかかりすぎているので要注意。													
セキュリティパッチ	状況	前回実施：2010/4/1 実施結果：成功													
総括	・ハードディスク 1 で障害が発生しています。早期のディスク交換が必要です ・Dドライブの使用率が94%に達しました。不要なファイルの削除を推奨します。														

▶ ポイント2 : 障害対応

障害発生時に、お客さまで実施する必要がある「障害調査」「切り分け」「障害復旧」をお手伝いすることで、**お客さまのご負担を大きく軽減すると共に、早期障害復旧を実現します。**



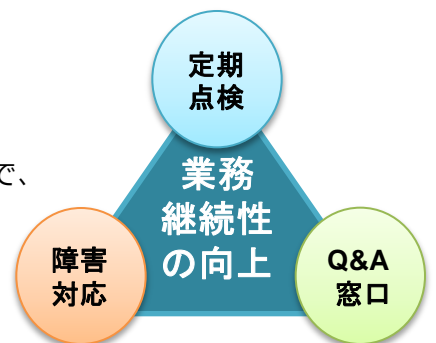
▶ ポイント3 : Q&A窓口

平常時のサーバーオペレーションやメンテナンスに関する質問にお答えいたします。これによって、**相談する窓口が無いという不安を解消できます。**

「定期点検」「障害対応」「Q&A窓口」の3つのサービスで、お客さまの業務継続性をより確実なものとしします。

ぜひ、弊社担当までご相談ください。

(サービス推進部 末寄 亮)





迅速で的確な保守サービスをお届けします！

皆さま、こんにちは。私たちのグループは、公共、製造、医療、環境等の幅広いお客さまへ、サーバー及びクライアントPCの構築（導入）・保守・運用サービスを提供しています。

主な業務内容としては、I AサーバーやiSeriesの保守・運用に関するサービスです。

具体的には保守契約を頂いているお客さまへの定期点検やメンテナンス、急なトラブルやウイルス感染時のスポット対応など、トータルサービスを展開しています。また、ご要望に応じてオンサイトにおける運用サービスも実施しています。

私たちは日頃より、お客さまが障害で困っている時には迅速に駆けつけ、的確な保守活動を実施しています。たとえば保守契約を頂いているお客さまからウイルス感染の連絡を受けた際には、北九州市内では1H以内に現場へ直行し、

インフラ（機器構成）情報を蓄積した

『システムカルテ』を元に、お客さまと影響範囲や対応策を分析・検討し、

ウイルス駆除やデータ復旧を実施します。

その後報告を行い、今後の予防対策検討、

更に将来的な障害対応を実施させていただきます。



これからも、お客さまへの最適なサービスを提案し、お客さまのご期待に応えていけるようメンバー全員で力を合わせて取組んで参りたいと思います。

(第2ITSグループ 蒲池 肇)



左から、柄本、末嵯、牧之瀬、江頭、小堤、蒲池

お客さまへ一言

- 牧之瀬 浩史 経験豊富なスタッフがお伺いします。何でもお任せください
- 蒲池 肇 今は買うより借りる時代。お客さまへパソコンのレンタルを提案します
- 小堤 孝行 お客さまが安心して利用できるシステム構築、運用をお手伝いします！
- 末嵯 亮 いつも笑顔で心がけています。ITでお困りの際はぜひご相談ください
- 江頭 孝司 お客さまのITニーズに柔軟に対応し、笑顔でサービスを提供します
- 柄本 誠 安心を届けに、九州一円飛び回っています。何でもお尋ねください

※ iSeriesは、IBM Corporation の商標です



みんなで走った25時間

～ 八幡東田ウルトラ25時間駅伝大会～



今年も、社員・家族・パートナーの方々に、TEAMソルネットとして、25時間元気に参加・完走しました。

走者への声援やハイタッチ、飲食物の差し入れなど、メンバー間のコミュニケーションはもちろん、同じく参加されているお客さまやパートナーさまはじめ、地域の方たちと、秋空の下、楽しく交流させていただきました。

また、駅伝と並行して行われる“スポーツGOMI拾い大会”に、今年は2チームで参加しました。本社地域近辺の清掃活動を定期的に行っていたことが功を奏したか、女性チームが見事“優勝”、男性チームもフェアプレー賞を獲得することができました。

このように、ゲームとして楽しく参加でき、さらに地域の美化にも貢献できる取組みに改めて感謝いたしました。



第13回パワーアップフォーラム

～ プロジェクト成果報告会 ～



「ぜひこれをみんなに聞いてほしい！」という熱い気持ちと一歩進んだノウハウを持った発表者が集まり、今回も盛況となったパワーアップフォーラム、今回はゲストスピーチとして日本アイ・ビー・エム株式会社 官公庁システム営業統括部長 嶺田さまから、「行政におけるICT活用の現状と未来像」についてお話頂きました。仕事人としての嶺田さまの情熱や姿勢、素敵なお人柄に多くの参加者が刺激をいただきました。



国際車椅子バスケットボール大会

～ 第12回北九州チャンピオンズカップ～

J Bグループ全体で行っている“車椅子バスケットボール支援活動”の一環として、11月15日(土)北九州総合体育館で行われた決勝戦に、弊社とJ B C C九州支店あわせて110名の応援団を結成して参加しました。

想像を超えるスピード感や激しく熱いプレーに心を打たれ、初めはみんな遠慮がちだった声援も、いつのまにか次第に大きくなり、メンバー全員で精一杯応援しました。



OSS (オープンソースソフトウェア) への取組み



前回、システムに組込んで使用するOSSのメリットや課題、取組みについてご紹介しました。今回は、弊社が特に利用効果が高いと考える3つのOSSをご紹介します。

■ シングルサインオン : openAM

openAMは、プロキシ方式、エージェント方式、クラウドで用いられるSAML方式に対応し、多要素認証も簡単に実現できます。弊社ではActiveDirectoryの連携、従来の認証方法との組合せやユーザー情報の付加など、より柔軟で高度なユーザー認証を構築する事ができます。

■ ワークフロー : jBPM

ワークフローは高価なパッケージを購入しても、実運用とのギャップが生じるケースが少なくありません。一方でフルスクラッチは、コストや保守性が問題となります。弊社ではjBPMをエンジンとして使用することで、柔軟性と品質、生産性の両方を享受するシステムを構築することができます。また、jBPMではワークフローに加えBPMやBRMSの機能も併せ持ちます。

■ システム連携 : mule

muleは管理機能こそ商用品に劣りますが、機能的には遜色なく、ERPパッケージ等と外部接続する部品も準備されています。また、商用品に比べ構成がシンプルで負荷分散構成も容易です。弊社では比較的早い段階からmule等のESBへの取組みを行っており、技術認定の取得者も多く、様々なノウハウを活用して、システム間を効率的且つ、柔軟に接続できます。

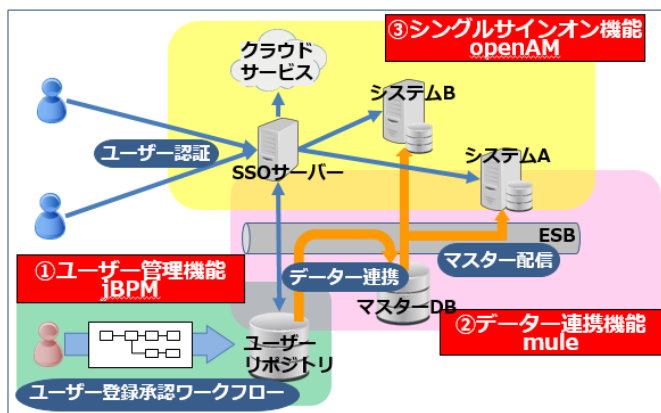
【構成例 : 統合ユーザー情報管理システム】

右図は、お客さまからご相談の多い、ユーザー管理機能、データ連携機能、シングルサインオン機能を、今回ご紹介したOSSを組合わせて実現した構成例です。

この他にもワークフローやシステム連携は様々な利用シーンで考えることができます。

■ 最後に

これからは、初期コストを抑えて素早く立上げ、必要に応じて大きく育てるようなシステムが求められます。弊社では今回ご紹介した以外にも様々なOSSを有効利用し、コスト・品質・機能において、お客さまに満足いただけるシステムの提供に努力していきます。また、開発フレームワークのOSSなど、機会があればまたご紹介したいと思います。



(技術支援グループ 園田 慎二)

※ OpenAMは、オープンソース・ソリューション・テクノロジ株式会社の日本での登録商標です。
他の商品名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。





自信と安心感をくれる仲間

開発案件がピークに差し掛かると、弊社2Fの一角が、終日人でにぎわいます。小誌「てくにかるCafé」を担当する技術支援グループメンバーの席です。

開発に行き詰まったり、トラブルシュートに悩んだりしているSE・プログラマーだけでなく、お客さまの新しいシステム構想をお聞きしてきた営業担当が、相談をするために、この席に次々と立ち寄ります。

深刻な顔でやってきた相談者は、状況説明をして、技術支援グループメンバーの質問にいくつか答えるうちに、問題の本質とその対処方法が見えてくるようで、席を立つ頃には誰でも、明るくすっきりした表情になるのが印象的です。



社内報告会では最新技術情報を社員に展開

お客さまや日々の業務に真剣に向き合えば向き合うほど、日々進化するITの新しい知識や幅広い情報に触れてスキルアップすることがおろそかになり、自分ひとりで解決できることがだんだん狭く、古く、限定的になってしまいがちです。弊社でも、この状況を改善しようと、多くのメンバーが日々苦心していますが、現実的にはなかなか難しい状況です。

そんな中、この技術支援グループが、ソルネットのアプリケーションの価値を高める「牽引力」や、品質や生産性を向上の安定的な基盤をつくる「地固め力」を担う部門として気概を持ち、いつも前向きな姿勢で新しい技術を取入れ、お客さまに最適な形でご提供するための準備を絶えず行ってくれているということが、大きな支えとなって、開発に携わるメンバーに自信と安心感を与えてくれるのです。

私たちがお客さまにお会いするさまざまな場面でも、仲間のこうした心強い支えがあるからこそ、いつも胸を張っていられるということを実感しています。

(Y.Nishino)

編集後記

2015年の世相を表す漢字は「安」でした。弊社でも、職場の"安全安心"ソリューションや、お客さまの"不安"を解消するサービスなどをご紹介してまいりました。これからも、お客さまの声をお伺いしながら、もっとたくさんのソルネットをお伝えすることで、お客さまと弊社を「結(ぶ)」広報誌となるよう、私も頑張っていきたいと思っております。

(K.K.)

